

板ガラス製品の厚さと重量

厚さの規格

弊社の板ガラス製品は日本工業規格 (JIS) の範囲内で製造しています。
JISに規定されている「厚さによる種類」、または「種類」の名称の数字を用いて「呼び厚さ(ミリ)」と表示しています。

1. フロート板ガラス (JIS R 3202²⁰¹¹より抜粋)

6.1.2 厚さ及びその許容差

厚さは、7.1.2によって測定したとき、[表3]に示す厚さ及びその許容差が示す範囲内になければならない。

[表3] 厚さ及びその許容差 単位:mm

厚さの呼び	厚さ	許容差
2ミリ	1.9	±0.2
2.5ミリ	2.5	
3ミリ	3.0	
4ミリ	4.0	±0.3
5ミリ	5.0	
6ミリ	6.0	
6.5ミリ	6.5	±0.6
8ミリ	8.0	
10ミリ	10.0	
12ミリ	12.0	±0.8
15ミリ	15.0	
19ミリ	19.0	
22ミリ	22.0	±1.2
25ミリ	25.0	

2. 型板ガラス (JIS R 3203²⁰⁰⁹より抜粋)

6.3 厚さ及びその許容差

厚さは、7.2によって測定した値が、[表2]に示す厚さ及びその許容差の範囲内になければならない。

[表2] 厚さ及びその許容差 単位:mm

種類	厚さ	許容差
2ミリ	2.2	±0.3
3ミリ	3.0	
4ミリ	4.0	
6ミリ	6.0	±0.5

3. 網入板ガラス及び線入板ガラス (JIS R 3204²⁰¹⁴より抜粋)

7.2 厚さ及びその許容差

厚さは、9.3によって測定したとき、[表5]に示す厚さ及びその許容差の範囲内になければならない。

[表5] 厚さ及びその許容差 単位:mm

厚さの呼び	厚さ	許容差
6.8ミリ	6.8	±0.6
10ミリ	10.0	±0.9

4. 合わせガラス (JIS R 3205²⁰⁰⁵より抜粋)

5.5 厚さの許容差

平面合わせガラスでは、7.1.1による厚さの測定値の5.1による厚さに対する許容差は、中間膜の材料としてあらかじめ成形された膜状体を使用し加熱、加圧によって製造されるものでは、材料板ガラスの厚さの許容差の合計とし、液状の樹脂を注入し固化させて製造されるものでは、材料板ガラスの厚さの許容差の合計と[表6]の中間膜の厚さの許容差との合計とする。
なお、あらかじめ成形された膜状体の中間膜の厚さが2mmを超えるものは、±0.2mmの許容差を材料板ガラスの厚さの許容差に加える。
また、材料板ガラスの合計厚さ(2)が24ミリを超えるもの及び材料板ガラスとして強化ガラス又は倍強度ガラスを使用するものについては、受渡当事者間の協定による。

[表6] 液状の樹脂を固化させる場合の中間膜の厚さの許容差 単位:mm

中間膜の厚さ	許容差
1未満	±0.4
1以上2未満	±0.5
2以上3未満	±0.6
3以上	±0.7

5. 強化ガラス (JIS R 3206²⁰¹⁴より抜粋)

6.2 厚さ及びその許容差

平面強化ガラスの厚さ及びその許容差は、8.2による測定値について[表5]による。

[表5] 厚さ及びその許容差 単位:mm

名称	厚さ	厚さの許容差
型板強化ガラス	4ミリ 4.0 ⁽²⁾	±0.4
フロート強化ガラス	4ミリ 4.0	±0.3
	5ミリ 5.0	
	6ミリ 6.0	
	6.5ミリ 6.5	
	8ミリ 8.0	±0.6
	10ミリ 10.0	
	12ミリ 12.0	
熱線反射強化ガラス	15ミリ 15.0	±0.8
	19ミリ 19.0	
	6ミリ 6.0	±0.3
	8ミリ 8.0	
	10ミリ 10.0	
12ミリ 12.0		

注(2)型板強化ガラスの厚さは、表面の型模様の最も高い部分から反対面までをいう。

6. 熱線吸収板ガラス (JIS R 3208¹⁹⁹⁸より抜粋)

5.2 厚さの許容差

厚さの許容差は、JIS R 3202の4.3 (厚さ及びその許容差)による。

※JIS R 3202: フロート板ガラス

7. 複層ガラス (JIS R 3209¹⁹⁹⁸より抜粋)

7.3 厚さ

複層ガラスの厚さは、材料板ガラスの厚さと材料板ガラス間の間隔の和で表し、その厚さは、当事者間の協定による。

7.4 厚さの許容差

複層ガラスの厚さの許容差は、[表4]のとおりとする。ただし、中空層が2層以上のもの、又は材料板ガラス1枚の厚さが15mm以上のものについては、当事者間の協定による。

[表4] 厚さの許容差 単位:mm

厚さ	許容差
17未満	±1.0
17以上22未満	±1.5
22以上	±2.0

8. 鏡材 (JIS R 3220²⁰¹¹より抜粋)

7.1 板ガラス

鏡材に使用する材料板ガラスは、JIS R 3202又はJIS R 3208に適合するものとする。

※JIS R 3202: フロート板ガラス
JIS R 3208: 熱線吸収板ガラス

9. 熱線反射ガラス (JIS R 3221²⁰⁰²より抜粋)

6.2 厚さ及びその許容差

厚さ及びその許容差は、JIS R 3202の4.3 (厚さ及びその許容差)、JIS R 3206の6.2又はJIS R 3222の4.2(1) (厚さ及びその許容差)による。

※JIS R 3202: フロート板ガラス
JIS R 3206: 強化ガラス
JIS R 3222: 倍強度ガラス

10. 倍強度ガラス (JIS R 3222²⁰⁰³より抜粋)

6.2寸法

厚さ及びその許容差並びに辺の長さの許容差は、次による。厚さ以外の寸法は、受渡当事者間の協定による。

a) 厚さ及びその許容差

厚さ及びその許容差は、[表4]による。

[表4] 厚さ及びその許容差

単位:mm

厚さによる種類	厚さ	厚さの許容差
6ミリ	6.0	±0.3
8ミリ	8.0	±0.6
10ミリ	10.0	
12ミリ	12.0	±0.8

11. その他のガラス

上記以外の板ガラス製品に関しては、カタログ本文中に特に記載が無い限り、材料板ガラスの厚みの規格と同等とします。

板ガラス製品の重量

単板ガラス

呼び厚さ(ミリ)	概算重量(1m ² 当り)
2	約5kg/m ²
3	約7kg/m ²
4	約10kg/m ²
5	約12kg/m ²
6	約15kg/m ²
6.5	約16kg/m ²
6.8	約17kg/m ²
8	約20kg/m ²
10	約25kg/m ²
12	約30kg/m ²
15	約37kg/m ²
19	約47kg/m ²
22	約55kg/m ²
25	約62kg/m ²

真空ガラス、複層ガラス、合わせガラス

呼び厚さ(ミリ)*	ガラス構成の一例	概算重量(1m ² 当り)
6	3+ 3	約15kg/m ²
8	4+ 4	約20kg/m ²
10	5+ 5	約25kg/m ²
12	6+ 6	約30kg/m ²
16	8+ 8	約40kg/m ²
20	10+10	約50kg/m ²
24	12+12	約60kg/m ²
9.8	3+ 6.8	約24kg/m ²
11.8	5+ 6.8	約29kg/m ²
12.8	6+ 6.8	約32kg/m ²
14.8	8+ 6.8	約37kg/m ²

*真空層、中空層、中間膜を除く。